

業種別景況予測

2022年1月～3月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部会	10～12月 (実績)	1～3月 (見通し)	概況			
寝装 リピング			「先行き不透明のため予測できない状況(繊維製品製造業)」顧客(ホームセンター、スーパー)の敷物部門の売上が悪化している(繊維製品製造業)」「コロナによる影響か、消費者動態そのものが変化しているのか、販売状況が悪化している(繊維製品製造業)」とのコメントが寄せられた。			
繊維 ファッション			「依然としてコロナによる影響により先行きが読めない(繊維加工業)」トンガで発生した海底火山噴火の影響により、今後の羊毛原料等の値上がりが見込まれ不安である(紡績業)」「上向きまでは程遠い。今般のオミクロン株で先行きが全く見えない状況(繊維加工業)」とのコメントが寄せられた。			
工業			「業界各社の受注は旺盛だが、鋼材・スクラップ価格高騰により原料となる空ドラムの回収量が減っている(製缶業)」鋼材の上昇が続いている(製鋼業)」「半導体不足により、自動車生産量が減少し、鋼材関係の在庫調整が出てきている(鋼製造業)」とのコメントが寄せられた。			
建設			「コロナの影響により、インドネシアでの木材加工の生産が遅れている。円高で約10%減益し、現地価格が約25%～34%増加している(木材輸入業)」建設現場では資材が入荷せず、動きが遅くなっている。少し動き出しているが、売上状況の改善につながるものではない(電設業)」とのコメントが寄せられた。			
運輸倉庫			「R3年6月頃までアニメの大流行による特需があったが、同年8月頃より下降し、現在は最悪の状態である(倉庫業)」海外の港に携わる人員がコロナ感染のため、コンテナ等の貨物が停滞。日本では遅れて届いた貨物を急いで出荷する傾向が続いている(貨物運送業)」とのコメントが寄せられた。			
金融理財			「当分は悪化傾向にあるが、業界全体は不変である(不動産賃貸業)」法令の改正に伴い、業務の困難性が増している(土業)」「法令改正の整備について、ニーズはあるものの、それに対応して業務量を増やすことについては、慎重にならざるを得ない。業務量で絞った結果、売上が微減となっても仕方がないと考えている(土業)」とのコメントが寄せられた。			
一般商業			「仕入価格が10%～20%高騰しているため、値上げせざるを得ない(小売業)」鉄スクラップ業界は好調に推移しているが、国内からの輸出は好調、中国で開催の北京オリンピックにおいて環境改善のため、鉄鋼の生産規制がある(産業用機械製造業)」「昨年5月に新店を開業した影響で売上・仕入・在庫も増加しているが、コロナの影響で新店以外の店の売上は減少し、利益も出ていない(薬局)」とのコメントが寄せられた。			
サービス商業			「忘年会シーズンも慣習がなくなり、オミクロン株の影響で来客が少ない(飲食業)」もう少しの辛抱。人の動きが活発になってくると良くなっていくと思う(喫茶店)」「IT業界はリモートでの業務ができるため、景気や社会情勢の波を受けづらい(システム業)」原材料や光熱費等の製造コストが増え、負担が大きい(広告代理業)」とのコメントが寄せられた。			

(調査概要) ●調査実施 令和4年1月 ●調査対象企業 287社 ●回答数 150社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にしていただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 業務課 TEL 0725-23-1111